

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料3-2

令和5年1月 日

協議会名：大井町地域公共交通会議

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
-----------	-------	-----------------------------	-----------	------------	-------------------------

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料3-2  
令和8年1月 日

協議会名：大井町地域公共交通会議

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富士急モビリティ株式会社	新松田駅～小田原駅(第一生命・西大友)の区間を運行 ※ 車両減価償却費国庫補助金交付対象	広域バスマップの作成・配布を行うとともに、HPへのナビタイムの導入実施や、地元広報誌において利用促進特集を実施、バスロケーションシステムの導入による利用促進を図るなどの取組を行った。また、企業による定期券一括購入も行っている。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 年間輸送人員目標73,000人に対して、輸送実績は79,973人、目標収支率は、87.92%に対し、実績は、88.23%であり、輸送人員は目標、収支率ともに目標に達した。	人々の生活様式が変化している昨今において、事業として大変厳しい状況に立たされている。今後の見通しも不透明な中だが、地域住民の生活において欠かせない路線であるため、利用者の更なる獲得に向け引き続き地域と連携し、利用促進を図っていく。その中で効率の良い輸送を目指し、運行回数・系統の見直しの検討を行い収支率の更なる改善を図る。
富士急モビリティ株式会社	新松田～小田原(下曽我経由)の区間を運行 ※ 車両減価償却費国庫補助金交付対象	広域バスマップの作成・配布を行うとともに、HPへのナビタイムの導入実施や、地元広報誌において利用促進特集を実施、バスロケーションシステムの導入による利用促進を図るなどの取組を行った。また、企業による定期券一括購入も行っている。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 年間輸送人員目標54,000人に対して、輸送実績は56,683人、目標収支率は、67.89%に対し、実績は、68.86%と、輸送人員・収支率ともに目標に達した。	人々の生活様式が変化している昨今において、事業としても大変厳しい状況に立たされている。今後の見通しも不透明な中だが、地域住民の生活において欠かせない路線であるため、利用者の更なる獲得に向け引き続き地域と連携し、利用促進を図っていく。その中で効率の良い輸送を目指し、運行回数・系統の見直しの検討、梅祭り開催時の増便運行の強化を行い収支率の更なる改善を図る。

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料3-2

令和5年1月 日

協議会名：大井町地域公共交通会議

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
-----------	-------	-----------------------------	-----------	------------	-------------------------